

平成29年度学校関係者評価シート(中間評価)

平成29年10月31日

校番	199	学校名	広島県尾道南高等学校	校長氏名	高坂 学	定時制	本校
----	-----	-----	------------	------	------	-----	----

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	B	<p>○これまで長年取り組んでこられた成果を踏まえて、引き続き学校を充実させるための適正な方向性が示されていると思います。ただし、数値目標を毎年上げなくても、一定の水準を決めてそれを維持することを目標値としてもいい時期に来ているのではないかと思います。</p> <p>○達成目標や指標の数値が少し高めに設定されているのではないかと。学校の教育目標になるような課題は、容易に解決できるようなものではないと思います。時には思うように進まなくて停滞するようなこともあると思います。大切なのは常にすこしずつでも前進していることなので、数値は理想を追い求めるのではなく、今の現状でできることで設定して良いと思います。</p> <p>○ミッションに示された人間像を育成し、ビジョンに示された南校のあるべき姿を実現するためにも、継続的な学校改革の方向を示した目標・指標・計画であることが必要と感じ、それに近いものになっていると思います。</p>
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<p>○取り組みされていることが適切に記述されています。</p> <p>○自己評価の評価基準がよくわかりませんが、全てBで、例年と同じく控えめなのではないかと感じます。特に、学校経営目標1～3は、文章を読む限りではAでいいのではないかと思います。</p> <p>○目標(数値)に対して、どれだけの進捗があるかという、具体的なものを出しているところは良い。</p> <p>○数値化がむずかしいところを、それぞれの担当者が説明してくれたが、内容が抽象的で、今一つ理解できなかった。最終の会議では、例を上げるなど、具体的に説明してほしい。</p> <p>○授業のユニバーサルデザイン化に向けての取組は、今後も推進させてほしい。</p> <p>○目標の達成に向けた教育実践の進捗を評価し、達成した項目は達成目標から外し、精選した目標の達成に向け、今後は重点的に取組んでほしい。</p>
目標達成に向けた取組の適切さ	B	<p>○取組んでいることが適切に記述されています。</p> <p>○先生方からの口頭説明は、よく分かり、先生方の情熱が伝わってきました。しかし、この評価表からはそのような情熱が伝わってこないのが惜しいことだと思います。</p> <p>○教師一人一人が各自の専門性と南校のミッションを一致させ(ベクトルを合わせる)、南校の限られた教育条件の中で創意と叡智にあふれた実践に取り組んでいると思います。</p> <p>○ここ数年で、職員のメンバーが新たになっている。状況がわからず、日々苦労されているのではないと思うが、学校自体は年々活性化しているように感じる。このことは学校経営目標の達成に向けた取組が、適切に行われているからだと考えられ評価できる。</p>
評価結果の分析の適切さ	B	<p>○適切に分析されていると思います。</p> <p>○目標(数値)に対して、どれだけの進捗があるかという、具体的なものを出しているところは良い。</p> <p>○数値化しにくいものは仕方ないだろうが、説明がやや抽象的であった。</p> <p>○数値化できる項目の評価は、ほぼ目標を達成していると思います。今後は、生徒・保護者、地域の人たち等にデータに基づいた情報(評価結果)を提供することで説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進してください。</p> <p>○昨年も述べたが、数値化できる項目は目標をほぼ達成しているので、自己評価が厳しいと考える。</p> <p>○目標達成に向けた評価指標を設定し、出てきた数値に対してなぜそのような結果になったかを考え、分析に活かしているところは、高く評価できる。</p>
今後の改善方策の適切さ	B	<p>○適切に改善の方策を考えられていると思います。</p> <p>○詳しく挙げようとしていることを評価します。</p> <p>○箇条書きになっているが、どの結果に対してこの方策が出ているのか。ということがわかりづらい。(表記の問題)</p> <p>○南校の施設や教職員の数から考えても、教科と特別活動の二つの領域を、全ての面で改善することは難しいと思います。そこで、南校が育んできた教育の成果を焦点化し、そこに限られた人材と施設を集中してください。(選択と集中)。その結果、南校の教育活動が効果的に実践され、成果を上げることを期待しています。</p> <p>○自然体験学習として大豆づくりは、生徒自らが作物を育てるという体験をすることで、生徒にとっては貴重な学習と考えるが、今後作ったものをどう活用するか。食品を作ったり、その作ったものを地域や社会にどう広めていくかなど、事後の活動の広がりを期待したい。</p>
総合評価	B	<p>○会議に出席できず残念です。文章からだけの判断になりますが、適切と考えます。</p> <p>○細かい項目だてをしているところは良い。</p> <p>○成果目標ではなく、取組目標となっていることは課題。</p> <p>○何%の生徒が、目標を達成したり、成果を上げていることは分かったが、そうでない生徒の対応については気になるところがあるので、そちらの報告と今後の取組もあわせて報告して欲しい。</p> <p>○限られた予算や職員数の中、創意工夫されて学校経営目標を達成するために教育活動が行われていると考えます。評価の結果は数値化されるので、その数値をアピールして、設置者である尾道市から支援を今以上に受けるようにしてはどうか。</p>